

## 令和 7 年 第 8 回米原市定例教育委員会

日 時：令和 7 年 8 月 20 日（水） 午後 3 時 30 分開会  
場 所：米原市役所 コンベンションホール

（出席者）

教 育 長：一ノ宮教育長  
教 育 委 員：上橋委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員  
教 育 部：口分田部長、高木理事  
教 育 総 務 課：馬場課長  
学 校 教 育 課：北川課長  
生 涯 学 習 課：平山課長  
図 書 館：梶川館長  
ス ポ ー ツ 推 進 課：横田課長  
学 校 給 食 課：花部課長  
子 育 て 支 援 課：本郷課長補佐  
保 育 幼 稚 園 課：安田課長  
書 記：吉川、辻村

### 1 開 会

### 2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。夏季休業中ですが、残り 10 日余りになりました。夏休み期間中の児童生徒の大きな事故というのは今のところ聞いていません。しかし、例年、新学期が始まってからこのようなことがあったと分かってくることがあるので、その時には迅速な対応ができるよう話していきたいと思っています。

新聞紙上では、中学 3 年生が父親を殺害するという事件が報道されています。詳しい状況は把握していませんが、本来、一番安らげるはずの家庭がそうではなかったのかなと想像しています。学校への行きづらさを抱えて、2 学期が始まることに不安を感じている子もいるでしょうし、逆に夏休み中に家庭の中でストレスを抱えている子どももあるだろうなと思っています。残念ながら、例年、夏休み明け前後に自分の命を絶ってしまう子どもの報道もあります。統計的には、9 月 1 日が自殺者が一番多いと言われています。2 学期のスタートが少しでも早く迎えられたらと思っていますし、学校としてどう関われるのか、子どもたちの SOS をしっかり受け止めながら対応していくことが大切だと思っています。明日、管理職会議がありますのでそのことについても話をしたいと

思っています。

今日も暑く、お盆の頃から猛暑の日が続いています。9月に入ってもこの異常な暑さが続くという予報が出ています。中学校の多くが体育大会は6月に終えています、残りは9月後半に実施ということです。それから、小学校は10月以降に運動会の開催ということで、これまでは9月に炎天下で最初の練習ということが心配されていまして、そういうことは避けられるようですが、熱中症対策が引き続き必要だと思っています。こういう暑い中ですが、昨日も高校野球では横浜高校と県立岐阜商業高校の熱戦がありました。横浜高校のエースピッチャーは彦根市出身の生徒でした。昨日は残念な思いをしたかと思います。そのほか滋賀県代表の綾羽高校も延長戦のタイブレークの末に甲子園初勝利をあげました。綾羽高校のメンバーには湖北勢が4人います。その中に米原中学校出身の生徒もいました。ちょうど私が校長をしている時にいた子で、テレビで映っている姿を見てもそれほど変わりなく愛くるしい顔ですが、大事な場面で追加点をあげるヒットも打っていて頼もしく感じたところです。それから、双葉中学校から京都の洛南高校に進学した子がインターハイの4×100mリレーで大会新記録で優勝しました。それから個人でも100mで7位入賞したということで、昨日、報告会がありました。中学校の陸上部の時には陸上部の顧問の先生の指導を受けていて、今もアドバイスをもらったりするような繋がりが続いているということで、中学校での活躍がさらに上の舞台で花を開いているということです。それから中学生も伊吹山中学校のホッケー部が全国大会に出場し、男女ともに1回戦を勝ち上がって、2回戦で残念ながら敗退したという結果でした。それから陸上では、近畿大会で米原中学校が男子4×100mリレーで7位入賞を果たしてくれたと聞いています。地元の若者の活躍は私達に勇気と希望を与えてくれるということで、応援したいと思っています。また、滋賀県で行われる国スポ・障スポ開会式のカウントダウンが40日を切ったということで、こちらも地元選手の活躍が期待されるところです。9月3日には米原市出身の選手の結団式の予定をされていて、いよいよ近づいてきたという感じがします。選手たちの活躍を祈りたいと思うところです。

以上、最初の挨拶とします。

### 3 会議録承認

令和7年第7回定例会議事録

### 4 議案審議

議案第32号 令和6年度一般会計決算に係る主要な施策の成果について【各課】

(内容) 教育委員会事務局所管の令和6年度米原市一般会計決算について、その主要な施策の成果について議会報告するため提出するものです

— 以下、議案に基づき説明 —

C委員 : 学校教育課のケアサポーター配置事業のところで、子どもケアサポー

ターとスクーリングケアサポーターという言葉がありますが、どういう仕事の違いがあるのか教えていただきたいです。

事務局： 子どもケアサポーターは市費単独でやっており、スクーリングケアサポーターは県費の補助をいただいているケアサポーターになります。別事業なので分けてカウントしなければならないですが、学校現場では同じように仕事していただいているという状況です。

C委員： 図書の購入費は、各学校の規模もあると思いますが、それぞれにどのような形で配分しているのでしょうか。もし分かるようでしたら、購入する本を選んでいただくのは大変だと思っているので、その辺の御苦労も教えてください。

事務局： 毎年いくらずつという図書の購入計画があつて、それに合わせて決めていきます。特に、学校図書館リニューアルを行うようなところはたくさん購入していただけるような予算をつけたりしていますので、学校司書からは、去年多かったのに今年少ないといった御意見をいただくのですが、どの学校でも学校図書館が充実するように計画に基づいてやっているところでは、購入する図書につきましては、学校の図書主任と司書が中心になっていただいています。こういう分野の書籍が少ないといったところで御要望いただきまして、購入を進めているというところでは、

C委員： 学校給食課で、毎年アレルギーで大変苦労してくださっていて、保護者がアレルギーを言ってくださって分かるのはもちろん良いのですが、食べさせてみて発覚するみたいな状況が各学校や園でもあるとお聞きしたのですが、その時の対応をお聞きしたいです。

事務局： アレルギーの対応ですが、学校で学校生活の健康管理基準表を御提出いただいて、その中でアレルギーがあるという子については、医師の診断のもとにアレルギーの申請をいただいて、アレルギーの対応食を実施しています。申請がなければ把握ができませんので、そういった場合については学校の方で対応いただいています。

C委員： 国スポ・障スポで、47都道府県の応援旗をそれぞれの学校が作ってくれていて、PRを目に見えるところに出してくださるというのは子どもたちにも良い企画でよかったなと思いました。JRの駅の階段にしても、PRはとても大事なことで、他の都道府県の方にもそれが目に見えてすぐく

良いことだと思います。

教育長 : 機運醸成ということで、いろいろと工夫しながら PR しています。また、米原市は滋賀県に来られる窓口ということにもなるので、力を入れてというところがあります。

A 委員 : 様々な事業を丁寧に進めていただいて本当にありがたいと思っています。私は今年から教育委員でお世話になっていて、去年の事業から今年の事業でどう変わったかまで把握できていないのですが、様々な成果を上げていただいている中、今年度の事業に移行し、継続するにあたって、昨年度の成果、課題、あるいは費用対効果などいろいろ協議しながら今年度の事業をしてくださっていると思うのですが、時にはスクラップアンドビルドしていかなければならないようなこともあるかと思います。より効果的な事業をこれからも目指していただきたいと思います。1つ教えて欲しいことがあり、事務局教育振興事業ですが、スクールカウンセラー6人とスクールソーシャルワーカー2人の経費があげられていますが、配置時間は大体どのぐらいになるでしょうか。大体で結構ですが、それが十分な時間なのか足りないのかお聞かせいただけたらと思います。

事務局 : 配置時間数については本日資料がないので次回準備させていただければと思います。また、県費だけでは到底足りないという状況が出てきていまして、市費でカバーしています。面談の要望が非常に多くて、各学校から令和7年度に向けてはもっと増やしてほしいという意見がありましたし、現在、令和8年度に向けて計算をしているところですが、やはり増要求していかなければならないだろうという状況です。

A 委員 : 学校としてはもっと配置をしてほしいということですね。私の過去の経験から言ってもスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーというのは、子どもや保護者の面談だけではなく、担任の先生の相談、不登校や特別支援のケース会議、いじめで保護者同士のトラブルになっているような会議に一緒に入っていて御意見をいただくことで助かったことが非常に多かったので、ぜひそういった活用も含めて時間数を増やしていけるよう御尽力いただきたいと思うので、継続してよろしくお願いしたいと思います。

原案承認

○2025 子育てと教育を語るつどい

— 以下、議案に基づき説明 —

教育長 : 今までは承認していたケースですが、政党の話も出てきますし、規程に引っかかると考えているのですがいかがでしょうか。

A委員 : 講演の内容で政党政治批判が出されるのではないかとということで、これを教育委員会が後援して良いのだろうかと思っていたので、不承認で良いと思います。

不承認

議案第 34 号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】  
○ながはま第九コンサート 2026

— 以下、議案に基づき説明 —

C委員 : ながはま第九コンサート 2026 という事業の名称になっているのですが、米原市も含めて湖北の小学生以上の皆さんにというのは、何か思いがあるのかなと思うのですが、分かりますでしょうか。

事務局 : 運営のところで、地域の特定非営利活動法人と連動した動きということもありますし、募集条件のところで、小学5年生以上で湖北地域を中心に活動している者となっており、見る側も身近でお楽しみいただけるので非常に良い取組ではないかと思っています。

原案承認

議案第 35 号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】  
○JAPAN PRIDE —いま、僕らの考える暮らしと工芸—

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 36 号 後援等名義使用承認（後援）について 【生涯学習課】  
○東山魁夷版画展 同時開催：日本美術名作選

5 報告事項

(1) 後援等名義使用承認（共催・後援）について

- |                          |           |
|--------------------------|-----------|
| ○米原市青少年育成大会・PTA 教育講演会    | 【教育総務課】   |
| ○ぶんさん 0 歳児からのコンサート V01.5 |           |
| ぱふおーまんすと楽しむおーけすとら        | 【生涯学習課】   |
| ○第 24 回 近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝 | 【生涯学習課】   |
| ○第 37 回伊吹山麓友好軟式野球大会      | 【スポーツ推進課】 |
| ○ヒューマンアカデミーSTEAM スクール    |           |
| ロボット作成・プログラミング無料体験会      | 【学校教育課】   |

6 所属長報告

教育総務課	図書館
学校教育課	スポーツ推進課
生涯学習課	学校給食課

(各課長からの説明は省略させていただき、質疑のみとします。)

7 所属長に対する質疑

A委員       : 40 日を超える夏休みもあと 10 日ということになりまして、子どもたちを地域や家庭に返して、子どもたちは様々な体験をして、一回り大きく成長して 9 月 1 日に元気に登校してくれることを期待しているところです。中には新学期が始まることを不安に思う子どももいると思います。特に不登校傾向にある子どもや集団の中で孤立気味な子どもなど、そうした子どもたちが安心して登校できるように各学校で新学期が始まる前から働きかけをしてくださっているだろうと思うのですが、把握されている範囲でどのような支援をされているのか教えていただきたいと思います。あわせて 9 月 1 日は自殺が多いという日になりますが、その自殺予防の取組も米原市としてあれば教えていただきたいと思います。

事務局       : 子どもたちは基本的にタブレットを持ち帰っていますので、タブレットで担任の先生と連絡を取り合えます。昔でしたら暑中見舞いを書いてということをやっていたのですが、今はタブレットで子どもたちと連絡を取れると聞いています。各学校での工夫次第ということになっていますので、どこまでそれが子どもたちの支援になっているのかは夏休み明けた時に情報収集して検証していく必要があるかと思っています。9 月

1日の自殺予防につきましては、明日の管理職会議で教育長からも話がありますし、私からも毎年ですが口酸っぱく言っていきたいです。文部科学大臣から子どもたちや保護者あてに自殺予防のメッセージが毎年来ているのですが、今回は保護者に直接配信できるアプリがありますので、それを使って直接保護者に送信して知っていただいて、学校でも家庭でも子どもたちをちゃんと見ていこうという警鐘を鳴らそうと思っていて、8月25日に一斉送信をしようという計画を立てているところです。

B委員： 夏季休業も残り少なくなっているのですが、放課後児童クラブでは、本当に長時間児童のお世話をされていると思います。指導員が子どもたちが興味を持って取り組めるような活動、体験、楽しめる催し物など様々な分野から組み入れておられるので、参加されている児童たちは学校と違う学びを経験されているかなと思います。

C委員： 本当に夏休みに子どもたちのいろいろな部分が出てきていると思いますし、それが不登校になるきっかけになったりして、きっと学校に行きにくくなるような子どもたちが出てくると思います。夏休みに不安を抱えている子どもたちと寄り添って、子どもたちが安心して出てこられるような接点を先生が持ってくださいるかにかかっていると感じています。夏休みに放課後児童クラブで3回おはなし会をする機会をもらってまして、子どもたちが職員と1日暮らされている姿を見ていると本当にメリハリのある活動をさせてくださっています。全身を動かして遊ぶ時間と勉強をする時間と先生とのフリーの時間とあって、その1つとして読書に触れる時間をいただいています。その中で、戦争を知らない子どもたちにいかに伝えていくかということで東京大空襲の話をしてもらう紙芝居があったのですが、真剣に話を聞いてくれて、子どもがおうちの人と一度お話してみると言ってくれました。それがすごく嬉しくて、夏休みに家族が子どもたちとやり取りしながら、自分自身の心の中の部分を出していただけるような機会がちょっとでもあったら良いなと感じました。

教育長： 戦後80年ということで、8月15日前後でいろいろなテレビで特集があって、できればそういうものを見ながら家族で話をしてもらえような環境があると良いなと思いますし、絵本や本の中でそういうことを知ってもらうことも大事なことだと思うので、また機会があれば話したいと思います。

D委員： 夏休みに入りまして、私の孫は今は放課後児童クラブには行っていない

のですが、夏休みはどうか聞いたら、早く学校に行きたいと言っていました。もう子どもが少なくなっているし、出かけるような地域での行事もほとんどないしということで、つまらないのだろうと思います。それと宿題をやったか聞くともう大体できたと言っていて、見てみると私の時に比べるとあまり宿題が出ていないなと思っていたところ、この間、テレビのニュースで、学校の宿題が任意制になっている学校が増えてきたということでした。そこで保護者のインタビューが出ていて、両方の意見をちゃんと取ってあって、宿題があるとやらせなければいけないから親自身がイライラするからない方が良いというのと、小学校くらいは勉強の癖をつけるのにある程度あった方が良くということの両方を紹介していました。だんだん宿題が少なくなってきたので、米原市では、保護者はどのように考えておられるか、もし分かったら教えていただきたいのと、教育委員会ではどのように考えているのかお尋ねしたいと思います。

事務局： 正直に申し上げまして、各学校におまかせになっていまして、その状況は把握ができていません。ただ、私も似たような番組を見まして、私が学校にいた時から既に選択できるような宿題がありました。作文もいろいろな応募が来ますが、この中から1つ自分でやってみたいものを選んでみるであるとか、以前は自由研究は必須でしたが、自由研究でも工作でも良いなど、やらされたのではなく、自分のやってみたいものにトライしてほしいという思いを持って宿題を出していました。量としてはすごく減ってはいるかなと思うのですが、今の学校もそうではないかなと思います。米原市の今後の方向としましては、タブレットの持ち帰りの話がありましたが、タブレットの中にAIドリルと呼ばれるアプリがあります。子どもたちが問題を解いていって苦手な問題がどんどん出てくるようなもので、今までは計算ドリルや夏休みの問題集でみんな同じことをやっていたのですが、その子に応じた宿題をタブレットを使って出せるように変えていきたいという思いはあります。タブレットの更新がまだ先ですので、来年すぐということは難しいかもしれませんが、そこは徐々にやっていきたいと思っていますところです。

E委員： 夏休みが1か月ぐらい進んできましたが、宿題の進捗も少し停滞しがちだったので、お盆の時に追い込みというか一生懸命やってほぼ終わったのですが、子どもの課題を一緒に見ていると、タブレットを開いてやる課題はそばで見ている親からすると子どもと学校が繋がっている感覚があります。その中で、今年の夏は梅雨が短くて長い夏で屋外に出ることが少なく、すごく体力が落ちている感じがするので、2学期に入った



らしばらくはバテと思います。残り 10 日ぐらいなので、ちょっと体を動かせながら 2 学期に備えたいと思っています。

## 8 質疑応答

## 9 その他

### (1) 令和 7 年第 9 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 7 年 9 月 22 日（月）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 3－C 会議室

### (2) 令和 7 年第 10 回定例教育委員会の開催について

日 時：令和 7 年 10 月 22 日（水）午後 3 時 30 分から

場 所：米原市役所 3－C 会議室

## 10 閉 会

以上をもって令和 7 年第 8 回定例教育委員会を午後 4 時 56 分に終了した。